

## 会員種別

### 個人正会員

年会費：3,000円

日本化学会会員の場合、非会員は4,000円

### 個人賛助会員

年会費：50,000円

### 学生会員

年会費：1,000円(1口)

1研究室で、1口につき20名まで

### 法人一般会員

年会費：20,000円(1口)

### 法人維持会員

年会費：100,000円(1口)

詳細は、下記研究会ホームページをご参照ください。  
<http://spacc.gr.jp>

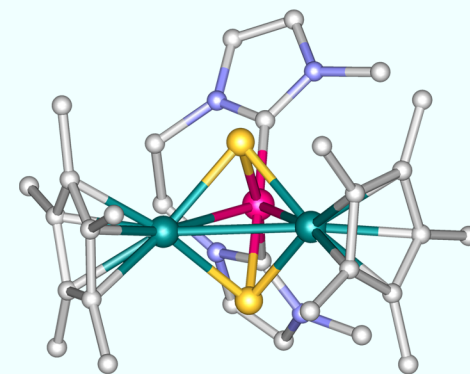


先端錯体工学研究会 事務局  
〒141-8648  
東京都品川区東五反田4-1-17  
東京医療保健大学大学院  
医療保健学研究科 (担当: 松村有里子)  
TEL: 03-5421-7656(内線715)  
e-mail: jimukyoku@spacc.gr.jp

SPACC

 The Society of Pure & Applied  
Coordination Chemistry (SPACC)

## 先端錯体工学研究会



SPACC

2016年6月 発行

<http://spacc.gr.jp>

## 先端錯体工学研究会とは

本研究会は、無機錯体化学を基盤として、工学、物理学、生物学、薬学、医学などを専門とする研究者、技術者の集団です。多岐にわたる異分野の専門家が集まる類い稀な存在であることが、本研究会の特徴です。

- ▶ 錯体化学に関する情報収集・交換
- ▶ 他の研究分野の研究者との情報交換、共同研究
- ▶ 新規境界領域分野におけるプロジェクトへの参画
- ▶ 産官学連携推進事業の促進
- ▶ 若手研究者の育成



具体的な研究内容の例には、以下ものがあります。

- ・ 金属イオンを含む高次の複合系の設計
- ・ 金属錯体・金属タンパク質を含むバイオシステム
- ・ 金属錯体センサー
- ・ 光エネルギー変換システム
- ・ 機能性錯体を用いた光学活性物質の合成
- ・ 医療用金属錯体

## 先端錯体工学研究会沿革

- 1992年 日本化学会の研究会として  
「基礎錯体工学研究会」が発足
- 2009年 名称を「先端錯体工学研究会」に変更

## 先端錯体工学研究会の活動

本研究会の主な活動は次の通りです。

### 研究交流会

- ▶ SPACCC国際会議
- ▶ SPACCC年会
- ▶ SPACCCミニシンポジウム

### 情報発信

- ▶ SPACCCニュースレターの発行
- ▶ 日本化学会春季年会での特別企画
- ▶ Pacificchemでのセッションの主催
- ▶ 書籍の出版

### 授賞・表彰

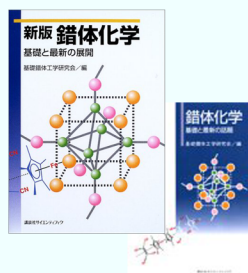
- ▶ 研究会賞
- ▶ 技術賞
- ▶ 奨励賞
- ▶ 学会における講演賞・ポスター賞

## 錯体化学分野における人材育成 ~授賞、表彰~

毎年、錯体工学の発展に寄与した個人、団体には先端錯体工学研究会の各賞を贈呈しています。またシンポジウムにおける優秀な発表を表彰し、若手研究者の育成をはかっています。



## 錯体化学の啓発 ~圖書の出版~



「錯体化学基礎と最近の話題」の全面改訂版として「新版錯体化学基礎と最新の展開」（基礎錯体工学研究会編）を講談社サイエンティフィクから出版しています。

## 研究者交流 ~学会・シンポジウムの開催~

先端錯体工学研究会は、海外での開催を含め、毎年国際会議を主催しています。そのほかにも、ミニシンポジウムやPacificchemでのセッション、また日本化学会春季年会において産官学連携を意識した特別企画も主催しています。



これまでの国際会議開催地

- 第1回(1994) 工学院大学
- 第2回(1995) 工学院大学
- 第3回(1996) 東京都立大学
- 第4回(1997) 工学院大学
- 第5回(1998) 工学院大学
- 第6回(1999) 大阪大学
- 第7回(2000) 香港理工大学(中国)
- 第8回(2001) 中国科学院(中国)
- 第9回(2002) 早稲田大学
- 第10回(2003) オークランド大学(NZ)
- 第11回(2004) 大阪市立大学
- 第12回(2005) 天津理工大学(中国)
- 第13回(2006) 北海道大学
- 第14回(2007) 台湾大学(台湾)
- 第15回(2008) 大阪市立大学
- 第16回(2009) 聊城大学(中国)
- 第17回(2010) 鹿児島大学
- 第18回(2011) ウィスラー(カナダ)
- 第19回(2012) 北海道大学
- 第20回(2013) 長春理工大学(中国)
- 第21回(2014) 工学院大学
- 第22回(2015) ナミビア大学(ナミビア)
- 第23回(2016) 岡山理科大学